

国土交通省 | 天竜川上流河川事務所



DATE: 令和元年 7月 18日

伊那谷遺産「濁流の子」
収まらなかった当時の
想いがここに！！

国土交通省 天竜川上流河川事務所

「濁流の子」完結編「濁流の子・補遺^{ほい}」！！
貴重な災害伝承資料を引き継ぎます

開催概要

「三六災害」の記録として貴重な資料である「濁流の子」。本書は著者碓田氏が被災地の小・中学生・高校生の作文を収集し、78点を抜粋して編纂しました。

掲載できなかった体験談は膨大な量がありましたが、大変貴重なものであるため、行政・教育関係者が活用できるよう碓田氏が新たに「濁流の子・補遺」として自費で編纂されました。

今後の災害伝承のために活用してほしいとの想いで本書をはじめとする多くの資料を寄付していただける運びとなったことから「濁流の子・補遺 授受式」を開催し、想いの詰まった著作を引き継ぎます。

日時：令和元年 7月25日（木）14：00～15：00

場所：天竜川上流河川事務所 2F会議室

参加者：濁流の子著者 碓田 栄一 様、天竜川上流河川事務所長

添付資料

式次第（資料1）、濁流の子シリーズについて（資料2）

取材について

○配布先

伊那記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、飯田市記者クラブ

○問合せ先

国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

副所長 鈴木 豊

建設専門官 竹内 昭浩 TEL:0265-81-6417

ほい
濁流の子・補遺



ほい
補遺・・・書き漏らした事等
を後から補うこと。

濁流の子 補遺 授受式

日時:令和元年7月25日(木)

場所:天竜川上流河川事務所2階会議室

議事次第

1. 開会
2. 事務所長あいさつ
3. 碓田さんのご紹介
4. 碓田さんごあいさつ
5. 濁流の子 補遺紹介
6. 濁流の子補遺 授受
7. 感謝状贈呈

濁流の子シリーズについて

資料2

NEW

	濁流の子 -伊那谷災害の記録-	続・濁流の子 -伊那谷昭和36年災害をのりこえて-	濁流の子・補遺
発行	初版：昭和39年12月23日 復刻版：平成3年6月	平成5年3月	平成31年4月
写真	 写真左：初版、 右：復刻版		
制作者	碓田 栄一氏 (初版本は自費出版)	天竜川上流河川事務所 (碓田氏も多大な協力)	碓田 栄一氏 (自費出版)
ページ	200ページ	40ページ	675ページ
概要	三六災害を体験した小・中学生、高校生らの作文を集め、1964(昭和39)年に発行された文集。災害当時、高校生だった碓田栄一氏が3年間をかけて個人で編集・発行した。被災地の児童・生徒から集めた作文から、80点を抜粋し、200ページもの文集にまとめ、ガリ版の原紙切りから印刷までをほとんど独力で作業した。	三六災害から30年を経て、災害の記憶が薄れつつある中、後世に災害の恐ろしさを伝え、新たな災害を防ぐための努力をしていくため発行された。碓田氏や三六災害経験者の座談会の記録を中心に、新たな三六災害の記録として編纂されている。	「濁流の子」に収録できなかった被災地の児童・生徒の作文を集めた文集。他にも伊那谷の高校受験生へ全国の受験生から送られた激励文なども収められている。一般向けの「濁流の子」とは異なり、行政・教育関係者に貴重な体験談を遺すため刊行された。本書は「濁流の子」の完結編として位置づけられる。